

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドウェイズ  
 コード番号 2489 URL <http://www.adways.net/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岡村 陽久  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理担当執行役員 (氏名) 田中 庸一  
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日  
 配当支払開始予定日 —

TEL 03-5339-7122

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	9,360	60.9	455	562.3	445	521.9	228	276.8
21年3月期第3四半期	5,816	—	68	—	71	—	60	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	2,878.49	2,809.75
21年3月期第3四半期	768.52	759.75

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	5,239	3,268	62.4	40,958.70
21年3月期	4,379	3,026	69.1	38,221.97

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 3,268百万円 21年3月期 3,026百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,700	40.9	600	171.0	598	155.9	400	95.3	5,040.01

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注)詳細は5ページ【定性的情報・財務情報等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- |                 |   |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更        | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                      |             |         |             |         |
|----------------------|-------------|---------|-------------|---------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  | 22年3月期第3四半期 | 79,810株 | 21年3月期      | 79,185株 |
| ② 期末自己株式数            | 22年3月期第3四半期 | 0株      | 21年3月期      | 0株      |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第3四半期 | 79,441株 | 21年3月期第3四半期 | 78,962株 |

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

前項に記載した予測数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化等により、前項の予想数値と異なる場合があります。  
 業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項について5ページ【定性的情報・財務情報等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成21年4月1日～平成21年12月31日)における我が国の経済は、金融不安に端を発した景気の低迷が続いており、一部に回復の兆しが見られるものの、依然として市況の先行きは不透明な状況となっております。

このような状況の中、当社グループが事業展開を行うインターネット・モバイル関連業界は、インターネットのブロードバンド化や携帯電話の定額料金制の普及を背景に、市場規模は安定した成長を遂げております。今後は、大手SNSのソーシャルアプリケーションのオープン化などにより、当社グループが手掛けているアフィリエイト広告市場は更なる拡大が予測されております。

こうした経営環境の中、当社グループは、国内のインターネット・モバイル関連業界において、アフィリエイト広告事業及びその他周辺事業に投資を行い、シェアの拡大及び収益力の強化に注力いたしました。

売上高は、主にインターネット(PC)アフィリエイト広告事業及びモバイルアフィリエイト広告事業の取引高が継続して拡大傾向にあることに加え、連結子会社である株式会社アドウェイズ・エンタテインメントが営むモバイルコンテンツ事業が順調に推移したこと及び、第2四半期連結会計期間より新たに株式会社アドウェイズブックスの損益を連結したことにより、前年同四半期より3,543,322千円増加し9,360,103千円(前年同期比60.9%増)となりました。

売上総利益は、売上高の増加に伴い、前年同四半期より432,620千円増加し、1,703,891千円(前年同期比34.0%増)となりました。

営業利益は、インターネット(PC)アフィリエイト広告事業及びモバイルアフィリエイト広告事業の増収に加え、販管比率の低減に努めたこと等により、前年同四半期より386,710千円増加し455,486千円となりました(前年同期比562.3%増)。

経常利益は、営業利益の増加により、前年同四半期より373,858千円増加し、445,497千円となりました(前年同期比521.9%増)。

四半期純利益は、投資有価証券評価損131,421千円を計上したものの、前年同四半期より167,986千円増加し、228,671千円となりました(前年同期比276.8%増)。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

①インターネット(PC)アフィリエイト広告事業

	平成21年3月期 第3四半期累計期間	平成22年3月期 第3四半期累計期間	増減	前年同期比(%)
売上高(千円)	1,758,901	2,047,368	288,466	16.4
(外部売上高)(千円)	1,752,337	2,045,340	293,002	16.7
(セグメント間売上高)(千円)	6,563	2,028	△4,535	△69.1
営業費用(千円)	1,603,529	1,862,169	258,639	16.1
営業利益(千円)	155,371	185,198	29,827	19.2
広告主(クライアント)数	1,188	1,100	△88	△7.4
提携Webサイト(メディア)数	161,668	184,958	23,290	14.4

当第3四半期連結累計期間におけるインターネット(PC)アフィリエイト広告事業は、主に収益力の回復を目下の課題とし、集中と選択に注力した営業戦略により広告主(クライアント)数が減少したものの、提携Webサイト(メディア)数が順調に増加し、1件当たりの取引高が増加したため、売上高、営業利益が増加いたしました。

この結果、インターネット(PC)アフィリエイト広告事業の売上高2,045,340千円(前年同期比16.7%増)、営業利益185,198千円(前年同期比19.2%増)となりました。

②モバイルアフィリエイト広告事業

	平成21年3月期 第3四半期累計期間	平成22年3月期 第3四半期累計期間	増減	前年同期比(%)
売上高(千円)	3,767,335	6,777,094	3,009,758	79.9
(外部売上高)(千円)	3,765,810	6,754,406	2,988,596	79.4
(セグメント間売上高)(千円)	1,525	22,687	21,161	※-
営業費用(千円)	3,258,539	6,005,460	2,746,921	84.3
営業利益(千円)	508,796	771,633	262,836	51.7
広告主(クライアント)数	2,061	2,450	389	18.9
提携Webサイト(メディア)数	71,990	91,886	19,896	27.6

当第3四半期連結累計期間におけるモバイルアフィリエイト広告事業は、携帯電話の高速データ通信、定額料金制の普及によるユーザー層の拡大等を受け、引き続き、広告主(クライアント)数、提携Webサイト(メディア)数とも順調に増加いたしました。それに加え、連結子会社である株式会社アドウェイズ・エンタテインメントのモバイルコンテンツ事業も順調に推移したため、売上高、営業利益が増加いたしました。

この結果、モバイルアフィリエイト広告事業の売上高6,754,406千円(前年同期比79.4%増)、営業利益771,633千円(前年同期比51.7%増)となりました。

※セグメント間売上高の前年同四半期比は、増加率が1,000%以上のため表記しておりません。セグメント間売上高が増加した要因は、当社グループ運営媒体への広告出稿量が増加したことによるものです。

### ③海外事業

	平成21年3月期 第3四半期累計期間	平成22年3月期 第3四半期累計期間	増減	前年同期比(%)
売上高(千円)	261,928	258,239	△3,689	△1.4
(外部売上高)(千円)	261,928	258,239	△3,689	△1.4
(セグメント間売上高)(千円)	—	—	—	—
営業費用(千円)	370,951	323,897	△47,053	△12.7
営業損失(△)(千円)	△109,022	△65,658	43,363	—

当第3四半期連結会計期間における海外事業は、中国へ進出する日系企業への営業強化による高利益率案件の獲得に注力したため、売上高に若干の減少が見られるものの、収益性の改善に加え営業費用の削減により、営業損失が改善いたしました。

この結果、海外事業の売上高258,239千円(前年同期比1.4%減)、営業損失65,658千円(前年同期より43,363千円の減少)となりました。

### ④新規事業・その他

	平成21年3月期 第3四半期累計期間	平成22年3月期 第3四半期累計期間	増減	前年同期比(%)
売上高(千円)	59,386	341,204	281,818	474.6
(外部売上高)(千円)	36,704	302,117	265,412	723.1
(セグメント間売上高)(千円)	22,682	39,087	16,405	72.3
営業費用(千円)	79,729	411,066	331,336	415.6
営業損失(△)(千円)	△20,342	△69,861	△49,518	—

新規事業・その他は、主に日本における新規事業等を営んでおります。また、第2四半期連結会計期間より株式会社アドウェイズブックスの損益が当セグメントに含まれております。

営業費用は主に国内におけるシステム開発、新規事業への先行投資及び、連結子会社である株式会社アドウェイズブックスの出版に係る費用等によるものであります。

新規事業・その他の売上高は302,117千円(前年同期比723.1%増)、営業損失69,861千円(前年同期より49,518千円の増加)となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、売上高の増加に伴う売上債権の増加により、前連結会計年度末に比べ860,290千円増加し、5,239,399千円となりました。純資産は前連結会計年度末に比べ242,307千円増加し、3,268,913千円となり、自己資本比率は62.4%となりました。なお、有利子負債はございません。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の期末残高は、前連結会計年度末に対して134,569千円増加し2,340,929千円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、444,476千円の収入となりました。(前年同期比295,310千円増)これは主に売上債権の増加額が226,781千円増加したものの、仕入債務の増加額が176,177千円増加したこと、税金等調整前四半期純利益が222,063千円増加したこと及び、投資有価証券評価損が131,421千円増加したこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、319,883千円の支出となりました。(前年同期比8,337千円増)これは主に投資有価証券の売却による収入が147,844千円減少したこと連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が151,691千円減少したこと、無形固定資産の取得による支出が27,409千円増加したこと等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、10,038千円の収入となりました。(前年同期比20,661千円増)これは主に新株予約権の行使による株式の発行による収入が12,701千円増加したこと及び、長期借入金の返済による支出が7,960千円減少したこと等によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

(当期の見通し)

当社グループが手掛けておりますアフィリエイト広告市場は、インターネット広告市場の拡大に伴い、成長を続けるものと予想されており、当社グループの業績も市場の成長とともに、当第3四半期連結累計期間におきましては、計画通り順調に推移しております。

当社グループは、アフィリエイト広告事業及びその周辺事業に経営資源を重点的に分配し、広告主(クライアント)数及び提携Webサイト(メディア)数の増加、自社メディアの育成等により、利益率の向上を図るとともに、差別化を図ります。また、中国におけるアフィリエイト広告市場に関しても今後の拡大を予想し、一層の営業体制の強化を図り、売上高の確保を図ります。

このような状況の中、売上高は主にアフィリエイト広告事業が引き続き拡大が進むと予想し、11,700百万円を見込んでおります。

一方で、既存取引先との関係強化に向けた取り組みにより、利益率が若干低下したため、当社グループでは、販売費及び一般管理費の効率化に取り組み、利益率の維持を図ることによって、営業利益は600百万円を見込んでおり、経常利益は598百万円を見込んでおります。

当期純利益は、税金等調整前当期純利益から法人税等を差し引き、400百万円を見込んでおります。

以上により、平成22年3月期の業績見通しにつきましては、売上高11,700百万円(前期比40.9%増)、営業利益600百万円(前期比171.0%増)、経常利益は598百万円(前期比155.9%増)、当期純利益400百万円(前期比95.3%増)を見込んでおります。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る、減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価格を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,340,929	2,206,359
売掛金	2,098,093	1,483,989
商品及び製品	4,069	19,459
仕掛品	12,337	—
原材料及び貯蔵品	152	105
繰延税金資産	38,107	23,865
その他	124,739	70,511
貸倒引当金	△65,898	△39,567
流動資産合計	4,552,529	3,764,723
固定資産		
有形固定資産	103,496	121,796
無形固定資産		
のれん	185,574	188,437
その他	149,723	127,676
無形固定資産合計	335,298	316,114
投資その他の資産		
繰延税金資産	59,810	5,225
その他	206,336	186,309
貸倒引当金	△18,073	△15,061
投資その他の資産合計	248,073	176,473
固定資産合計	686,869	614,385
資産合計	5,239,399	4,379,108
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,560,110	1,090,156
未払法人税等	97,140	10,354
ポイント引当金	14,697	22,953
返品調整引当金	52,213	—
その他	246,322	229,037
流動負債合計	1,970,485	1,352,501
負債合計	1,970,485	1,352,501
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,476,958	1,470,131
資本剰余金	1,466,958	1,460,131
利益剰余金	349,300	120,536
株主資本合計	3,293,216	3,050,799
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△24,302	△24,193
評価・換算差額等合計	△24,302	△24,193
純資産合計	3,268,913	3,026,606
負債純資産合計	5,239,399	4,379,108

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	5,816,781	9,360,103
売上原価	4,545,510	7,617,626
売上総利益	1,271,270	1,742,477
返品調整引当金繰入額	—	38,586
差引売上総利益	1,271,270	1,703,891
販売費及び一般管理費	1,202,494	1,248,404
営業利益	68,775	455,486
営業外収益		
受取利息	4,315	2,053
保険解約返戻金	931	—
補助金収入	2,253	—
その他	216	1,595
営業外収益合計	7,716	3,649
営業外費用		
支払利息	262	119
株式交付費	3	—
為替差損	3,546	587
有価証券売却損	1,026	—
貸倒引当金繰入額	—	12,200
その他	14	730
営業外費用合計	4,853	13,638
経常利益	71,638	445,497
特別利益		
固定資産売却益	647	50
償却債権取立益	—	331
違約金収入	7,861	5,000
特別利益合計	8,508	5,381
特別損失		
固定資産売却損	—	1,568
固定資産除却損	1,842	1,594
投資有価証券評価損	—	131,421
事務所移転費用	14,969	523
リース解約損	1,038	—
減損損失	—	31,409
特別損失合計	17,850	166,518
税金等調整前四半期純利益	62,297	284,360
法人税、住民税及び事業税	4,334	85,201
法人税等調整額	△5,175	△29,511
法人税等合計	△840	55,689
少数株主利益	2,453	—
四半期純利益	60,684	228,671

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	2,249,302	3,510,214
売上原価	1,760,822	2,893,815
売上総利益	488,480	616,398
返品調整引当金戻入額	—	649
差引売上総利益	488,480	617,047
販売費及び一般管理費	415,016	433,366
営業利益	73,464	183,681
営業外収益		
受取利息	1,014	553
為替差益	—	1,562
補助金収入	2,253	—
その他	27	363
営業外収益合計	3,295	2,479
営業外費用		
支払利息	56	—
為替差損	1,272	—
貸倒引当金繰入額	—	12,200
その他	—	163
有価証券売却損	1,026	—
営業外費用合計	2,355	12,363
経常利益	74,403	173,797
特別利益		
固定資産売却益	647	—
償却債権取立益	—	106
違約金収入	—	5,000
特別利益合計	647	5,106
特別損失		
固定資産売却損	—	479
固定資産除却損	831	39
投資有価証券評価損	—	131,421
事務所移転費用	327	—
特別損失合計	1,158	131,940
税金等調整前四半期純利益	73,892	46,963
法人税、住民税及び事業税	398	86,479
法人税等調整額	△11,818	7,639
法人税等合計	△11,420	94,118
少数株主利益	1,967	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	83,344	△47,155

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	62,297	284,360
減価償却費	84,819	66,172
減損損失	—	31,409
のれん償却額	10,005	35,744
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,172	28,897
ポイント引当金の増減額(△は減少)	2,057	△8,255
返品調整引当金の増減額(△は減少)	—	38,586
受取利息及び受取配当金	△4,315	△2,053
支払利息	262	119
固定資産売却損益(△は益)	—	1,518
固定資産除却損	1,842	1,594
投資有価証券評価損益(△は益)	—	131,421
移転費用	14,969	523
売上債権の増減額(△は増加)	△327,662	△554,443
仕入債務の増減額(△は減少)	264,431	440,608
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△22,826	32,825
未払消費税等の増減額(△は減少)	30,899	△23,695
その他	27,269	△56,849
小計	148,223	448,485
利息及び配当金の受取額	4,315	2,053
利息の支払額	△252	△115
法人税等の還付額	—	1,045
法人税等の支払額	△3,121	△6,992
営業活動によるキャッシュ・フロー	149,165	444,476
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△19,206	△24,490
有形固定資産の売却による収入	—	71
無形固定資産の取得による支出	△21,189	△48,599
投資有価証券の取得による支出	△150,262	△150,517
投資有価証券の売却による収入	147,844	—
事業譲受による支出	△99,000	△97,973
差入保証金の差入による支出	△6,930	△2,428
差入保証金の回収による収入	10,856	4,036
子会社株式の取得による支出	△18,414	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△152,635	△943
その他	△2,608	960
投資活動によるキャッシュ・フロー	△311,546	△319,883
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△11,256	△3,296
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	13,334
その他	632	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,623	10,038
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,054	△60
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△177,057	134,569
現金及び現金同等物の期首残高	2,327,965	2,206,359
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,150,907	2,340,929

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

	インターネット (PC)アフィリエイト 広告事業 (千円)	モバイルアフィリエイト 広告事業 (千円)	海外事業 (千円)	新規事業 ・その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上 高	1,752,337	3,765,810	261,928	36,704	5,816,781	—	5,816,781
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	6,563	1,525	—	22,682	30,771	(30,771)	—
計	1,758,901	3,767,335	261,928	59,386	5,847,552	(30,771)	5,816,781
営業利益又は営業損失(△)	155,371	508,796	△109,022	△20,342	534,802	(466,027)	68,775

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

	インターネット (PC)アフィリエイト 広告事業 (千円)	モバイルアフィリエイト 広告事業 (千円)	海外事業 (千円)	新規事業 ・その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上 高	2,045,340	6,754,406	258,239	302,117	9,360,103	—	9,360,103
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	2,028	22,687	—	39,087	63,802	(63,802)	—
計	2,047,368	6,777,094	258,239	341,204	9,423,906	(63,802)	9,360,103
営業利益又は営業損失(△)	185,198	771,633	△65,658	△69,861	821,311	(365,825)	455,486

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主要な製品

- (1) インターネット(PC)アフィリエイト広告事業  
インターネットを介したアフィリエイト広告事業等
- (2) モバイルアフィリエイト広告事業  
携帯電話を介したアフィリエイト広告事業等
- (3) 海外事業  
海外におけるアフィリエイト広告事業等
- (4) 新規事業・その他  
日本における新規事業等

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。